



石林 撒尼人

⊙ 美 口 画 力

THE SANI PEOPLE OF THE STONE FOREST

石林

石林彝族自治县人民政府 编

民族出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

石林撒尼人 / 赵德光, 黄建明主编, 一北京: 民族出版社, 2006.11
ISBN 7-105-07921-5

I. 石… II. ①赵…②黄… III. ①彝族—概况—石林彝族自治县—画册②
社会主义建设—成就—石林彝族自治县—画册 IV. ① K218.7-64 ② D619.744-
64

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2006) 第 137047 号

责任编辑: 罗 焰 尹 俊

封面设计: 黄尔帝

封面绘图: 黄永玉

版式设计: 赵 桃

制 作: 北京尔晟民族文化传播有限公司

石林撒尼人

出 版: 民族出版社

地 址: 北京市和平里北街 14 号 (邮编: 100013)

发 行: 民族出版社

网 址: <http://www.e56.com.cn>

印 制: 深圳雅昌彩色印刷有限公司

印 张: 57.25

字 数: 300 千字

规 格: 787mm × 1092mm 1/8

印 次: 2006 年 11 月第 1 版 2006 年 11 月北京第 1 次印刷

定 价: 580.00 元

该书如有印装质量问题, 请与本社发行部联系退换

(汉文第二编辑室电话: 64228001; 发行部电话: 64211734)

THE SANI PEOPLE OF THE STONE FOREST

石林撒尼人



美

石

林

人

石林

《石林撒尼人》编委会

编委主任：柳文炜 李忠德

副主任：李正平 毕春华 徐梅芬

委员：王彦平 毕玉昌 昂智灵 徐跃高

主编：赵德光 黄建明

副主编：杨新民 昂继忠

编委：（以姓氏笔画排列）

王丽梅 方跃章 许 华 李兰英

赵 桃 张海英 张 锋 黄 兴

摄影与提供照片（按照片多少顺序排列）

杨新民 李兰英 王丽梅 昂继忠 许 华

黄 兴 方跃章 张海英 黄建明 金兴跃

金 路 毕 平 毕惠芳 赵一民

撰 文：黄建明 赵德光 罗 焰

英文翻译：史 昆（美） 马克·本德（美）

日文翻译：岩佐一枝（日） 樊秀丽（图片说明部分）



石林撒尼人

⊙ 𠃉 𠃊 𠃋 𠃌

THE SANI PEOPLE OF
THE STONE FOREST

主编：赵德光 黄建明

By Zhao Deguang and Huang Jianming

石林彝族自治县人民政府 编

民族出版社

目 录

概 述

18



- (1) 称谓与分布
- (2) 语言文字
- (3) 撒尼人的价值观及精神象征物
- (4) 撒尼文化研究的历史与现状

历史源流

52



- (1) 远古文化
- (2) 撒尼人的形成与历史文化发展
- (3) 党的光辉照山寨，人民当家做主人

居住与生活环境

72



- (1) 地质地貌
- (2) 村落
- (3) 家庭与民居
- (4) 家什
- (5) 饮食文化

生产生活

126



- (1) 生产方式
- (2) 经济作物
- (3) 畜牧、狩猎、渔业生产

工具与用具

162



- (1) 竹编用具
- (2) 木制用具
- (3) 金属制品
- (4) 陶器制品
- (5) 石制用品
- (6) 武器
- (7) 其他

服饰与刺绣

216



- (1) 撒尼服饰的变迁
- (2) 儿童服饰
- (3) 少年服饰
- (4) 青年服饰
- (5) 中年服饰
- (6) 老年服饰
- (7) 背具类
- (8) 其他

目 录

- (1) 火把节
- (2) 密枝节
- (3) 春节
- (4) 游艺



传统节日与游艺

284

- (1) 诞生礼
- (2) 恋爱与婚姻
- (3) 葬礼



人生礼俗

328

- (1) 文学
- (2) 舞蹈
- (3) 音乐、乐队、乐器
- (4) 民间美术



民间艺术

356

- (1) 祖先崇拜
- (2) 自然崇拜
- (3) 祭师
- (4) 人为宗教



民间信仰

396

今日撒尼



今日撒尼

424



目 录

Introduction

18



- (1) Ethnic Name and Distribution of the Sani
- (2) Language
- (3) The Characteristics of the Sani
- (4) Past and Present Sani Studies

History

52



- (1) Archaic Period
- (2) The Emergence of the Sani and Their Historical Development
- (3) Becoming Their Own Masters in New China

Natural Environment and Material Culture

72



- (1) The Natural Environment
- (2) Villages
- (3) Family and Architecture
- (4) Furniture and Utensils
- (5) Food Culture

Economic Activities

126



- (1) Agriculture
- (2) Cash Crops
- (3) Animal Husbandry, Hunting and Fishing

Tools and Utensils

162



- (1) Bamboo-Woven Utensils
- (2) Wooden Utensils and Tools
- (3) Metal Appliances
- (4) Pottery Utensils
- (5) Stone Tools
- (6) Weapons
- (7) Other Tools

Ethnic Dress and Embroidery

216



- (1) Development of the Dress
- (2) Children's Dress
- (3) Early Youth Dress
- (4) Youth Dress
- (5) Dress for the Middle-aged
- (6) Senior Dress
- (7) Carrying Bags
- (8) Other Items

目 录

- (1) Torch Festival
- (2) Mizhi(Earth Offering)Festival
- (3) Spring Festival
- (4) Entertainment



Traditional Festivals and Entertainment

284

- (1) Childbearing
- (2) Courtship and Marriage
- (3) Funeral



Life Cycle and Rites of Passage

328

- (1) Literature
- (2) Dance
- (3) Music and Musical Instruments
- (4) Folk Art



Folk Art

356

- (1) Ancestor Worship
- (2) Nature Worship
- (3) Indigenous Religious Figures
- (4) Other Religions



Belief Systems

396

The Sani of Today



The Sani of Today

424



目 录

概 要

18



- (1) 呼称と分布
- (2) 言語と文字
- (3) 撒尼人の価値観と精神的象徴物
- (4) 撒尼文化研究の歴史と現状

歴史の源流

52



- (1) 太古の文化
- (2) 撒尼人の形成と歴史文化の発展
- (3) 党の栄光は山中の村落を照らし、
人民は主人公となり政治に参加する

居住と生活環境

72



- (1) 地質の特徴
- (2) 村落
- (3) 家庭と住居
- (4) 家具
- (5) 飲食文化

生産生活

126



- (1) 生産様式
- (2) 経済作物
- (3) 牧畜、狩猟、漁業生産

工具と用具

162



- (1) 竹製の用具
- (2) 木製の用具
- (3) 金属製品
- (4) 陶器製品
- (5) 石製用品
- (6) 武器
- (7) その他

服飾と刺繍

216



- (1) 撒尼服飾の変遷
- (2) 子供の服飾
- (3) 少年の服飾
- (4) 青年の服飾
- (5) 中年の服飾
- (6) 老年の服飾
- (7) 背負って使う道具
- (8) その他

目 录

- (1) 火把節
- (2) 密枝節
- (3) 春節
- (4) 遊戲



傳統的祝日と演芸

284

- (1) 出產儀礼
- (2) 恋愛と婚姻
- (3) 葬儀



人生における儀礼

328

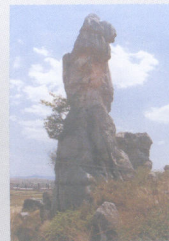
- (1) 文学
- (2) 舞踏
- (3) 音楽、楽隊、楽器
- (4) 民間美術



民間芸術

356

- (1) 先祖崇拜
- (2) 自然崇拜
- (3) 神主
- (4) その他の宗教



民間信仰

396

今日の撒尼



今日の撒尼

424

在彩云之南，有一个神奇的地方，她的名字叫石林；在彩云之南，有一个神奇的族群，她的名字叫彝族撒尼人；在彩云之南，有一个神奇的故事，她的名字叫《阿诗玛和阿黑》。石林是撒尼人的故乡，阿诗玛和阿黑是撒尼人的精神象征。撒尼姑娘们说：“我们都是阿诗玛。”撒尼小伙子说：“我们都是阿黑。”

撒尼人是一个迁徙的民族，历代先民一直在寻找梦中的“阿着底”：蓝天白云，青山绿水；春意盎然，山花烂漫；绿树成荫，水清见底；牛羊成群，满山遍野；人人幸福，怡然自乐……石林就是一代又一代的撒尼人寻找中的“阿着底”。石林景区形态各异的石峰，似人像物，惟妙惟肖，整体又像大盆景，是喀斯特地貌的精华，石林景观之美难以用语言描写，因而被誉为“上帝的盆景”、“天下第一奇观”，等等。

撒尼人是一个善于创造的民族，一直在塑造着自己的民族文化和民族精神。从“蒙落部文化”到“路南彝族撒尼文化”，再到“石林阿诗玛文化”，创新一直没有停止；《美丽的彩虹》、《竹叶常青》、《逃到甜蜜的地方去》和《阿诗玛》四大爱情长诗，唱出了撒尼人灵魂深处的歌；山文化、火文化、石文化、毕摩文化深刻地揭示了撒尼人农耕文化的内涵；悲剧意识、理想模式、智慧人生、开放心灵则是撒尼文化的特征。撒尼人的内心深处对理想、对精神、对人格有着坚定的追求，这不仅使撒尼人的艺术具有独特的魅力，更让这种精神、动力、理想、信念成为撒尼人生活的支柱，尽管艰难但不失理想，尽管挫折但不失追求，尽管困



难但不失乐观，在深沉的悲剧意识之中，保持平静的心态；在开放的心灵中，保持独立的人格。这一切，不管在哪一时代和哪一环境中，对一个民族来说，都是至关重要的，都关系到民族的成败和荣辱。

世界在变化，时代在发展，撒尼人现处于从传统社会走向现代社会、从传统文明走向现代文明、从传统文化走向现代文化的阶段。撒尼人遇到了前所未有的挑战和阵痛。面对空前的经济社会变化，撒尼彝区经济建设先天不足的问题越来越明显，传统文化消失速度越来越快。而我们知道，一个失去民族文化和丧失历史记忆的民族将永远失去心灵家园；一个缺乏文化自觉的民族将会丢失尊严和荣誉。保护优秀传统文化和现代化建设的矛盾摆在了我们这一代面前，建设具有地方特色和民族特色的现代化石林，摆在了政府和人民的面前。受石林彝族自治县人民政府的委托，我们主编了这部大型画册。尽管我们试图把撒尼人的地域文化、物质文化、精神文化以及古今辉煌，林林总总地在此书中表现，但由于部分历史文化的消失和篇幅的限制，最终还是或多或少地留下了一些遗憾，望读者见谅。

我们做了一件事，记录一个族群的文明，记录一个族群的精神，一个族群的历史，一个族群的发展。是为序。

赵德光 黄建明





Preface

The southwest province of Yunnan literally means “south of the clouds”, and in that area south of the colorful clouds is a place of wonder called Shilin-“the Stone Forest”. And in that wonderful place lives a unique people named the Sani. Among these people called Sani there circulates a timeless legend about a beautiful young woman named Ashima (or Ashma) and her lover Ahei. Just as the Stone Forest region in Yunnan is home to the Sani people, Ashima and Ahei are symbols of beauty, love, wisdom and bravery. They symbolize all Sani young men and women who live in the region today.

In ancient times, the Sani people were nomads and they traveled around a paradise on earth called “Azhodi”, where there were always blue sky, green mountains, wild flowers, crystal-clear water, flocks of animals, and joyful people. The Stone Forest is that dreamland of the Sani people, and it is the birthplace of the heroine Ashima. Its natural beauty is evident in a vast array of rock formations in shapes like pillars, humans, and animals. The karst landscape is one of endless rocky gullies and caves, seemingly shaped by supernatural forces. Thus the Stone Forest has been a source of inspiration for the construction of gardens and for landscape architecture.

The Sani are an ingenious people who throughout history have created a unique culture of their own. Historically, they were apart of a people once known as the Lolo, though today that term has fallen out of use. At various times their culture has been called the Sani culture of Lunan (now known as Shilin) county, the Sani culture of the Guishan Mountains, and the Ashima culture of the Stone Forest. The Sani are well known for their epic-length love stories, the most famous of which is Ashima. Sani culture reflects an agricultural way of life, which is closely connected with the mountains, fire, rocks and ancestors. The Sani share a legacy of tragedy and idealism, human wisdom and free will. These qualities not only help the Sani to create unique literary and art forms, but also sustain their self-image and pursuit of happiness. With these qualities, the Sani have never lost hope in front of challenges; they are always optimistic despite obstacles. They remain independent and balanced with an open mind to the development of society.

Today the Sani people are transitioning from a traditional society to an economically more developed one. During this process, Sani traditional culture is facing unprecedented challenges. Faced with these socioeconomic changes, the cultural tradition has tended to protect its historical relevance, thus slowing down the modernization progress. However, the Sani traditional culture has not diminished, and the Sani ethnic identity is becoming stronger instead of weakening.

This book presents the history, culture, development and future prospects for the Sani people.

Zhao Deguang and Huang Jianming



序文



彩雲の南²には、不思議な場所がある。その名は石林。彩雲の南には、珍しい民族が暮らしている。その名は撒尼人。彩雲の南には、不可思議な物語が語り継がれている。その名は阿詩瑪、阿黒。石林は撒尼人の故郷であり、阿詩瑪と阿黒は撒尼人にとって美と愛の神であり、知恵と勇気の神である。撒尼の娘は口々に言う。「私達はみんな阿詩瑪。」撒尼の若者は言う。「僕らは誰もが阿黒なのだ。」と。

撒尼人は一介の流浪の民である。ずっと“阿着底”という桃源郷を捜し求めている。“阿着底”には青い空に白い雲、青々と木々の茂る山や川が広がっている。そこは詩趣満ち溢れ、山や野に花が咲き乱れている。緑の木々は木陰を作り、水は澄み切って底まで見える程だ。牛や羊は野や山の至る所に群れを成している。人々は幸福で、楽しげである……石林こそ、まさに撒尼人にとっての“阿着底”なのである。その美しさは、即ち石峰、石柱、そしてまるで芽吹いているかのような様々な形の石にある。これらの石は人や物のように見え、またそれが実に真に迫っている。その美しさは凸凹した火山石の谷、浸食された洞、地盤、地下道、溝、つまり浸食と鍾乳洞などの成長によるものだ。そしてそれは、カルスト地形という要素が異なる背景と多種多様に組み合わせさせた、景観の総体的な美なのである。石林の景観が人類に与えているもの—それは、造園という巨大な啓示であり、それ故に“造園の源”と誉めそやされているのである。

撒尼人は創造に長けた民族であり、これまでひたすらに自らの民族文化や精神を形作ってきた。“口口文化”から“路南彝族撒尼文化”—“圭山彝族撒尼文化”—“石林阿詩瑪文化”と、新しいものを作り出すという点では止まることを知らない。『美麗的彩虹』、『竹葉常青』、『逃到甜蜜的方去』や『阿詩瑪』は、四大長編抒情詩で、撒尼人の心の奥底にあるものを歌い上げている。山の文化、火の文化、石の文化、先祖崇拜の文化は、撒尼人が創り出した農耕文化の内包を深く示すものである。悲劇的な感情、理想的な模範形式、知恵に富んだ人生、精神の開放、それこそが撒尼文化の特徴なのである。撒尼人は心の奥底で、確固不動に理想、精神、人格を追い求めている。このたゆみない努力は、撒尼人の芸術に独特な魅力を与えているだけでなく、更にこういった精神、原動力、理想、そして信念というものを撒尼人の生活の支柱たらしめているのである。どれ程辛く苦しい思いをしても決して理想を失わない、挫折しようとも追い求めることを止めない、どんなに苦難に満ちていようとも前向きな気持ちを失わない……深い悲しみの中にあっても平常心を保つ。開放的な気持ちであっても自立した人格を保つ。これらは全て、どのような時代や環境の下にあっても、一民族にとっては極めて重要なことである。

世界は変化し、時代は発展し続けている。撒尼人は今、伝統的な社会から現代的な社会への転換期にあり、この過程の中で、撒尼伝統文化は未曾有の挑戦と産みの苦しみに直面している。先例のない経済社会の変化に直面し、撒尼伝統文化の“後進性”と伝統的な価値理論体系における“歴史の惰性”は極めて明白で、頑強に明示されている。そしてそれは、撒尼人の目指す現代化に暗い影を落としている。ところが、発展の中で撒尼伝統文化は消失するどころか一層輝かしいものとなり、散り散りばらばらになるどころか系統化された。民族の共通意識は弱化するどころかより強力なものとなり、民族の集束力は弱まることなく逆に強まった。

我々は一つの事を成し遂げた。民族の歴史、発展、精神、変化、そしてその未来を記録したのである。

これを序文とする。

趙徳光 黄建明



石林

